

霞城学園通信

平成25年度 第5号 （通巻第306号）
発行／山形県立霞城学園高等学校ⅠⅡⅢ部

感動と共感を呼ぶ発表

—校内生活体験発表会—

9月25日（水）、本校アリーナにおいて、平成25年度校内生活体験発表会が開催されました。各クラスの代表12名が、学校生活やアルバイトを通して学んだことや、家族や友人とのかかわりのなかで気づいたり考えたりしたことを発表しました。いずれも自らの実体験に基づいた内容であり、聞く者に感動と励ましを与えるすばらしい発表でした。

審査結果及びテーマは次のとおりです。

- | | | |
|------|-----|-------------------|
| 最優秀賞 | Ⅰ－3 | 「看護体験を通して」（県大会出場） |
| 優秀賞 | Ⅰ－4 | 「一致団結」 |
| 優秀賞 | Ⅰ－2 | 「自分が今考えていること」 |
| 優秀賞 | Ⅰ－1 | 「目標に向かって」 |
| 優秀賞 | Ⅱ－3 | 「自分との葛藤」 |
| 優秀賞 | Ⅲ－4 | 「4年間を振り返って」 |

以下発表順

- | | |
|-----|------------|
| Ⅱ－2 | 「水の大切さ」 |
| Ⅲ－3 | 「先生のメッセージ」 |
| Ⅲ－1 | 「夢に向かって」 |
| Ⅱ－1 | 「心に住む」 |
| Ⅱ－4 | 「人とのつながり」 |
| Ⅲ－2 | 「人としてのマナー」 |



平成25年度後期が始まりました。

10月1日（火）、5日間の秋季休業でリフレッシュした生徒の皆さんが、新たな決意を持って各部毎に視聴覚教室に集まり、後期の始業式が行われました。同時に、校内生活体験発表会で発表者の皆さんが各部でそれぞれ表彰を受けました。

後期に入ると、霞城祭や演劇教室などの学校行事、生徒会役員選挙や後期生徒総会などの生徒会活動、後期の総合学習やクラスごとのLHRなど、教科の学習だけではないさまざまな活動が計画されています。自分にどのような可能性があるかは、そうした活動に参加してわかってくる場合があります。チャンスだと思って積極的に参加してください。

更に、前期に引き続ききちんと取り組んで欲しいこととして、

- 自分が登録した授業にきちんと出席して学習し、単位をしっかりと取得しましょう。
（前期に取得できなかった場合、復活を目指すか、せめて後期のみでも取得を目指しましょう）
- 制服や髪型など身なりに関する規則の無い本校では、大人のルールとマナーが課せられます。
その第一歩は「入校許可証をつけること」です。次が「時間の厳守」、「挨拶の励行」などと続きます。

の二点を確認しておきたいと思います。

卒業年次生は希望進路実現に向けて最後のひと踏ん張りです。それ以外の皆さんは、単位取得と実り多い後期になるよう一緒に頑張りましょう。